

# リウマチセンターだより

## ～当センターとの連携施設のご紹介です～

### 第5回目：中央公園クリニック



中央公園クリニックは、宇都宮市の西部に位置します。栃木県立中央公園に隣接する県立博物館の北側にある内科のクリニックです。現在、医師1名 看護師2名（うち非常勤1名）医療事務2名からなる小さな診療所です。2006年5月に開院して今年で11年になります。開院当初は、周りは田んぼが多かったのですが、今は全くなくなってしまいました。近くのコンビニまで田んぼの脇を歩いたものでした。大きなスーパーや銀行ができ、つい最近、スターバックスが近くにでき、街中に様変わりしました。

内科 リウマチ科 胃腸科でスタートしましたが、関節リウマチの患者さんを診る機会が増えました。関節リウマチを心配なさって来院する方もいらっしゃいます。多くは、変形性関節症ですが、シェグレン症候群の合併があると、関節痛が強くなる傾向があるように思います。来院時に、関節炎の強い方や炎症反応の強い方、あるいはリウマチ関連の血清反応がでている方は、早期に関節リウマチと診断可能ですが、そうでない場合は、診断が難しくなることもあります。まめに経過をみせていただいて、関節リウマチと診断できることもあります。ほかに 膠原病による関節炎や乾癬性関節炎等の鑑別が必要になることもあります。

関節リウマチは、関節を主体とする一つの疾患ですが、多様性があると考えております。治療の反応性も患者さんで異なります。メトトレキサートのみで十分に関節リウマチがコントロールできる方、生物学的製剤が必要になる方、生物学的製剤の使用に工夫が必要になる方など、いろいろな場合があります。一人一人の患者さんを診させていただくときには、この方の関節リウマチの特徴は何だろうと自問しながら、適切な治療が提供できるように心がけております。

関節リウマチの患者さんで、合併する肺線維症が増悪する場合、非結核性抗酸菌症の合併がある場合、生物学的製剤を使っても効果がない場合などがときにあります。そのような場合は、診療所レベルでは対応が困難ですので、獨協医科大学病院リウマチセンターにお世話になっております。

当院で通院中の関節リウマチや膠原病の患者さんが、肺炎や間質性肺炎など、急な合併症があったときも、リウマチセンターの先生方にお世話になっております。

高度な医療機関であるリウマチセンターとの連携があって、当院の診療が機能できていると考えております。これからもどうぞよろしくお願い申し上げます。

院長 堀江誠一

320-0851 宇都宮市鶴田町 3608-8

TEL 028-649-0311



6月はリウマチ月間です。みなさま  
体調管理にお気をつけください！！

